

いすみの課題解決策考案

NTT東と地域商社タッグ



いすみ市の課題解決に向けて考案した事業を説明するNTT東日本グループの社員ら＝同市

いすみ市の地域商社「SOTOBO ISUMI(そとぼつすみ)ほ、NTT東日本と連携して、同市

として参加し、主力の1次産業の担い手不足や人口減に直面する地域の活性化へ向けた企画を提案した。同地域商社は、デジタル技術を広く活用する漁業のDX化や子ども向けICT(情報通信技術)教育などで地域の課題解決に取り組み。NTT東は、パーパス(存在意義)に「地域循環型社会の共創」を掲げており、社員が住民から地域の課題を聞いて解決策を考え、新たなビジネスを開拓する行動力を育もうと同地域商社とタッグを組んだ。

NTT東グループの社員は昨年12月から3班に分かれ、農業と福祉の連携を手がける社会福祉法人、循環型酪農の牧場、漁業DX化を進める漁協といった地域の事業所を巡り、課題を調べてテーマを設定。新たな事業提案に向け、市役所や飲食店、JA直売所も訪れてさらに情報を集めた。成果発表会では、3班のメンバーがそれぞれ「有機農業」「音楽フェス」「メタバース(仮想空間)」をメインに、NTT東のICT技術を活用した地域活性化案を提案。独自の視点で浮かび上がった市の課題や魅力を紹介し、施策の内容と効果を力説した。

参加した葛岡由花さん(25)は「地域活性化に取り組む方々と交流し、日々の仕事だけでなく、人生でのチャレンジについても考えるきっかけになった」と手応え。地域商社の今江純子代表(56)は「ワクワクする提案ばかり」と講評し、今後人材育成を展開して地域課題の解決につなげたいと力を込めた。